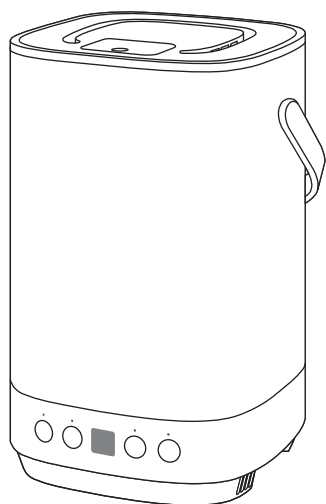


- 業務用として使用しないでください。
- 他の用途でのご使用はしないでください。
思わぬ事故の原因になります。

家庭用

スチーム式加湿器 KKS-HJ4



もくじ

- 安全上のご注意…………… ①～②
- 知っておいていただきたいこと…… ③
- 設置…………… ④
- 各部の名称…………… ⑤～⑥
- 準備…………… ⑦～⑧
- 使いかた…………… ⑨～⑪
- お手入れ…………… ⑫
- 故障かな?と思ったら…………… ⑬～⑭
- よくあるご質問…………… ⑮
- 収納のしかた…………… ⑮
- 仕様…………… ⑯
- アフターサービスについて…………… ⑰
- 保証書…………… 裏表紙

この商品は、海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

- ・このたびは、弊社スチーム式加湿器をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。
- ・ご使用の前に、この取扱説明書を必ずよくお読みになり正しく安全にお使いください。
- ・お読みになった後は、大切に保管してください。

最新情報はオリジナルブランドページ

YAMAZEN BOOK を
チェック!

随時情報を更新中!

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、安全に関する内容を記載しています。内容をよく理解して記載事項をお守りください。



警告

誤った取り扱いをしたときに死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの



注意

誤った取り扱いをしたときに傷害または物的損害に結びつくもの

図記号の説明



禁止

禁止（してはいけないこと）を示します。
具体的な内容は図記号の中や文章で示します。



指示

指示する行為の強制（必ずすること）を示します。
具体的な内容は図記号の中や文章で示します。



注意

注意を示します。
具体的な内容は図記号の中や文章で示します。



警告



分解禁止

分解・修理・改造をしない

火災・感電の原因になります。
修理はお買い上げの販売店にご相談ください。



水滴れ禁止

本体を水につけたり、水をかけたりしない

感電・ショート・故障の原因になります。

電源プラグ・コードは正しく扱う



禁止

電源コードや電源プラグが傷んでいるときや、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない

感電・ショート・発火の原因になります。



禁止

電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものをのせたり、挟み込んだり、加工したり、高温部に近づけたりして使用しない

電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。



禁止

マグネットプラグにピンや針金など金属物や異物を付着させない

感電・ショート・発煙・発火の原因になります。



禁止

マグネットプラグをなめさせない

乳幼児が誤ってなめないようにしてください。
感電・けがの原因になります。



濡れ手禁止

濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない

感電・けがの原因になります。



交流100V
定格範囲内

電源は交流100Vで使用し、コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない

たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。



ホコリをとる

電源プラグの刃および刃の取付面にホコリが付いているときは、乾いた布でふき取る
プラグにホコリがたまると湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。



根元まで差し込む

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと感電・ショート・発火の原因になります。



製品の移動時は電源プラグをコンセントから抜き、必ず水を捨てる

こぼれた水による床濡れや、けがの原因になります。
取っ手をしっかりと持ち、滑らないようにしてください。



プラグを持って抜く

電源プラグを抜くときはコードを持たずに、必ずプラグを持って引き抜く

断線・ショートして感電・故障・発火の原因になります。



プラグを抜く

使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く

電源プラグを長期間差し込んだままにしますと、ホコリなどが積もることによって絶縁劣化を起こし、感電・漏電火災の原因になります。



プラグを抜く

お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く

感電・けがの原因になることがあります。



プラグを抜く

異常時（水もれ・焦げくさいにおいがするなど）は、運転を停止して電源プラグをコンセントから抜く

異常のまま運転を続けると火災・感電の原因になります。
運転を停止してお買い上げの販売店にご相談ください。

警告



すき間などからピンや針金など、金属物や異物を入れない

禁止

感電・異常動作してけがの原因になります。



お子様だけで使用させたり、乳幼児の手の届く場所で使用したりしない

禁止

感電・けが・やけどの原因になります。



倒れて他の電気製品などに水がかかるような場所に置かない

禁止

こぼれた水で、感電・ショート・故障の原因になります。



吹出口や通気口をふさいで運転しない

禁止

衣類やタオルなどをかけて運転しないでください。故障の原因になります。



使用中や使用直後は製品を動かさない

禁止

ふたがしっかり閉まっていないと転倒したとき、ふたが開き熱湯が流れ出すため危険です。



毛足の長いじゅうたんや畳の上、傾斜面などの不安定な場所で使用しない

禁止

振動したり、引っ掛けて転倒したりすると水がこぼれて、感電・ショートの原因になります。



使用中や使用直後は吹出口や高温部に顔などを近づけたり、触ったりお手入れをしたりしない

禁止

やけどの原因になります。



使用中や使用直後にふたを開けたり、ふたを開けたまま運転したりしない

禁止

蒸気により、やけどの原因になります。



包装用ポリ袋は、お子様や乳幼児の手の届かない場所に保管する

誤って被ったとき窒息し、死亡の原因になります。

注意



水タンクに化学薬品・汚れた水・アルカリイオン水・ミネラルウォーターなどを入れない

禁止

水道水以外は使用しないでください。故障や雑菌の繁殖の原因になります。



お部屋の加湿以外の用途で使用しない

禁止

お部屋の加湿以外の用途で使用すると感電・故障の原因になることがあります。



暖房器具の上や近く、直射日光が当たる場所に置かない

禁止

プラスチック部分が変形・変質・変色することがあります。



水タンクの水は毎日新しい水道水と入れ換えて、内部を定期的にお手入れする

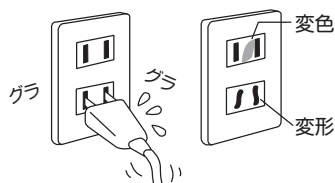
こまめなお手入れ

水タンクに水あかが付着して、加湿量の低下や故障の原因になります。週に1～2回は必ずお手入れをしてください。また、水を入れたままにしておくと、異臭などの原因になります。

知っておいていただきたいこと

- お手入れは、こまめに行ってください。
特に水タンクなど内部に水あかが付着すると、故障や異音・異臭の原因になります。
- やけどのおそれがあります。次のことに、ご注意ください。
 - ・使用中や使用直後は吹出口や高温部に触れたり、顔などを近づけたりしない。
 - ・使用中や使用直後にふたを開けたり、ふたを開けたまま運転したりしない。
 - ・お子様だけで使用させたり、乳幼児の手の届く場所で使用したりしない。
 - ・不安定な場所で使用しない。
 - ・給水は、本体が冷めてから行う。
- 水タンクに水が入っていない状態で運転しないでください。火災・故障の原因になります。
- 水タンクに水道水以外のものを入れて運転しないでください。
市販の除菌剤やアロマオイルなども故障の原因になることがあります。
- 本体下部や床（設置場所）を時々清掃してください。こぼれた水を放置すると、床を傷めるおそれがあります。
- 毎日水を入れ換えてください。また、長期間使用しない場合は必ず水を捨ててください。水あかの付着や、水の腐敗による悪臭の原因になります。
- 凍結する場所に電源を切って放置する場合は、必ず水タンクの水を捨ててください。
- コンセントの差し込みがゆるくなっていないか（コンセントの老朽化）、タコ足配線をしていないか、電源プラグが根元まで差し込まれているかなどを確認してください。ゆるくなったコンセントは使用しないでください。
電源プラグの刃が変形している場合やコードに傷がある場合などは、使用を中止して修理をご依頼ください。

コンセントの点検



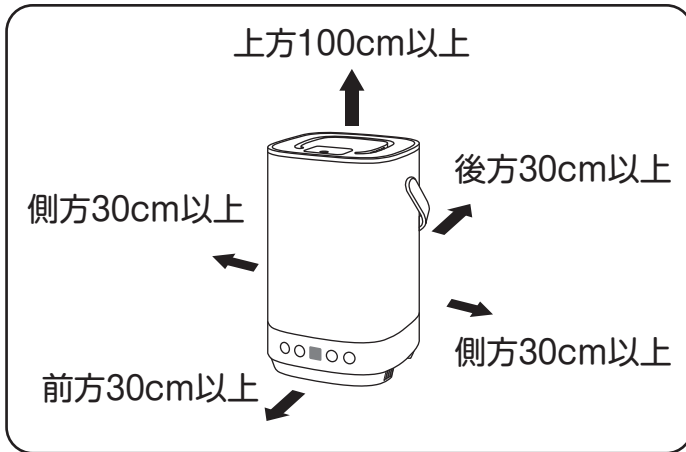
次のようなコンセントは早めに交換をしてください。

- 電源プラグが軽く差し込める・すぐに抜けてくる。
 - 変色・変形している。
- ※良好なコンセントは、電源プラグを差し込むときに多少力が必要で、差し込んだ後もグラグラしません。

- この商品は一般家庭用です。業務用には使用しないでください。

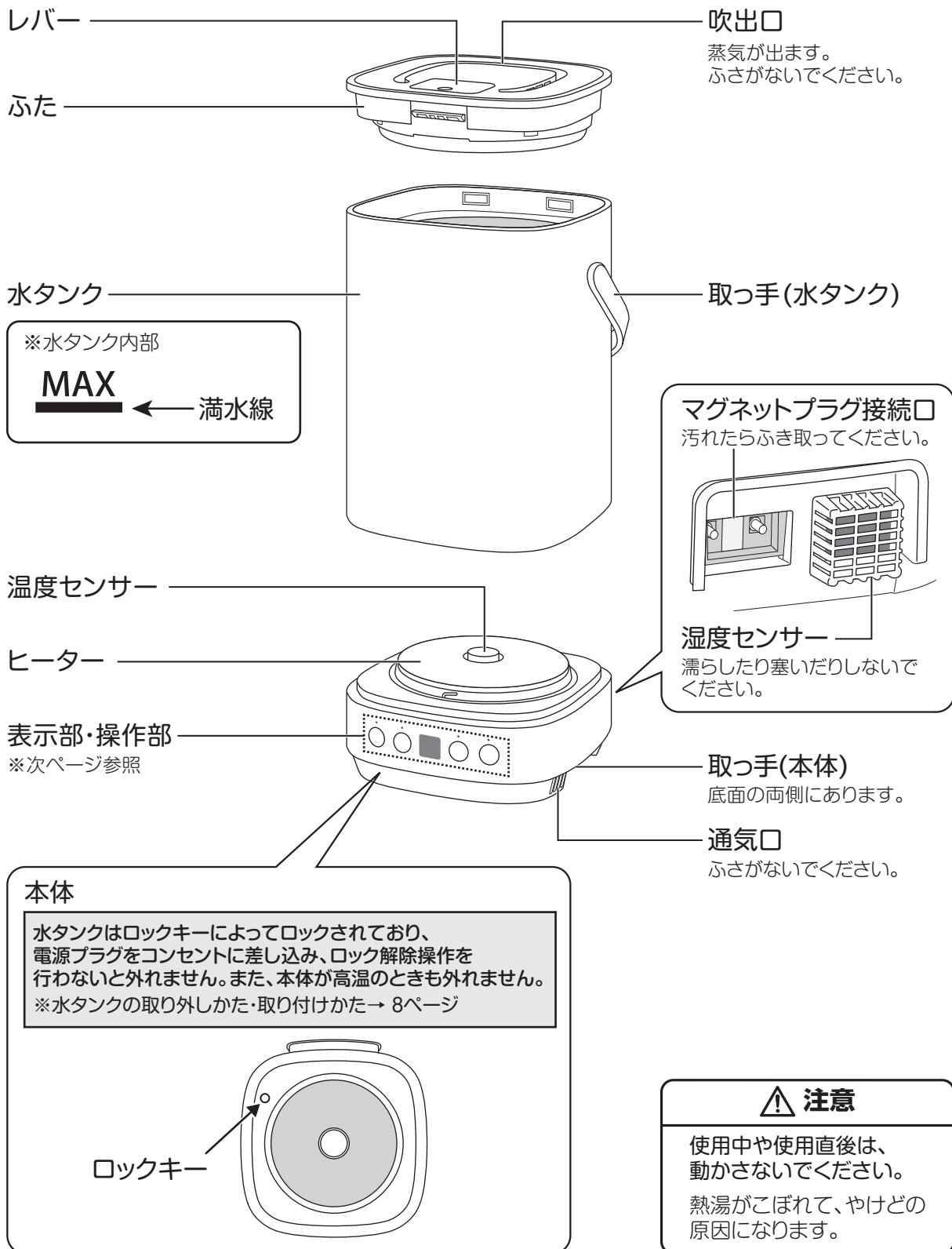
設置

- 下図の範囲内には物を置かないでください。



- 吹出口や通気口をふさがないでください。
- 次のような場所に設置しないでください。
 - ・傾いていたり不安定な場所
 - ・お子様や乳幼児の手の届く場所
 - ・電気製品や精密機器などの近く
 - ・直射日光の当たる場所
 - ・テーブルクロスなど熱に弱いものの上
 - ・高いところ
 - ・暖房器具など他の熱源の近く
 - ・吹出口から出る蒸気が家具や壁などに直接当たる場所

各部の名称



各部の名称

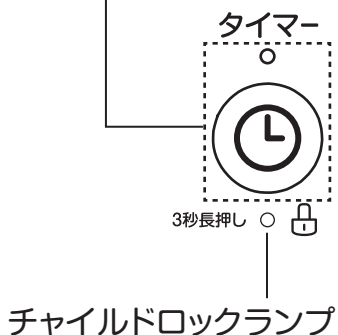
表示部・操作部

自動ボタン/ランプ

設定湿度(50%・60%・70%)になるように運転します。

タイマーボタン/ランプ

長押しするとチャイルドロックになります。

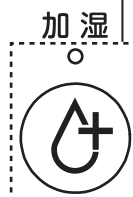


表示部



加湿ボタン/ランプ

加湿量を3段階に切り換えます。

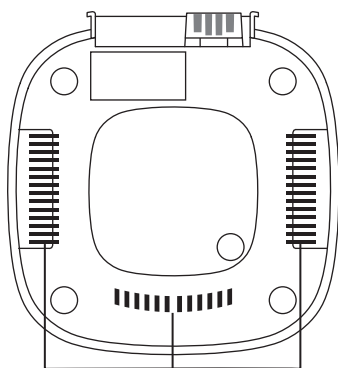


電源ボタン/ランプ

- 運転の入/切と水タンクを外すときに押します。
- 電源ランプ
 - 緑色(電源ON) : 通常運転時
 - 赤色(電源OFF) : ヒーターが高温です。
水タンクは取り外せません。
 - 消灯(電源OFF) : 長押しするとブザーが鳴り、ロック解除します。
水タンクを取り外せます。

ボタンを押すたびにブザーが1回鳴ります。

本体底面



通気口

ふさがらないでください。

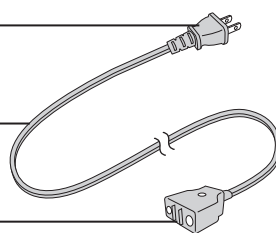
付属品

付属の専用電源コード以外は、使用しないでください。

電源プラグ

電源コード

マグネットプラグ



準備



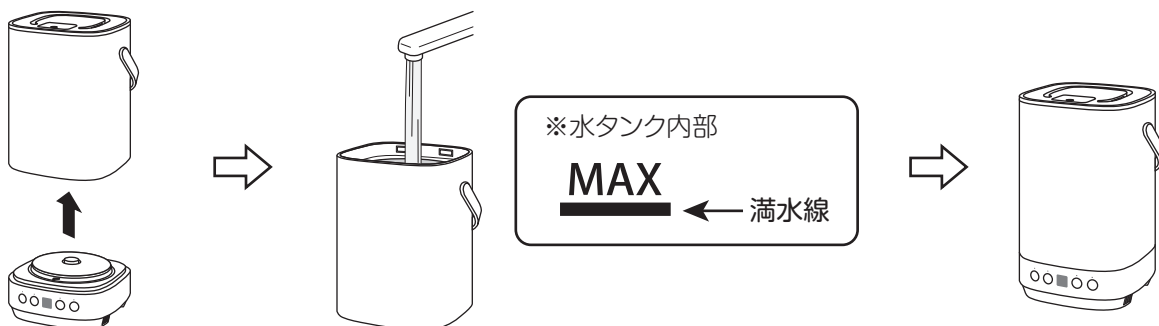
注意

次のような水は使用しないでください。

- ミネラルウォーター、アルカリイオン水、浄水器の水、井戸水…カビや雑菌が繁殖しやすくなり、故障の原因になります。
- 化学薬品、芳香剤、アロマオイル、汚れた水…故障・変形の原因になります。

水タンクを本体から取り外して給水した後、ふたを閉めて、本体に取り付けてください。

満水線 (MAX) を超える多量の水を入れしないでください。



【ふたの取り外しかた】

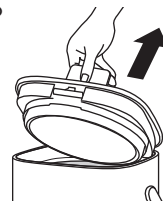
レバーの前側を押しながら持ち上げて、ふたを取り外してください。



警告

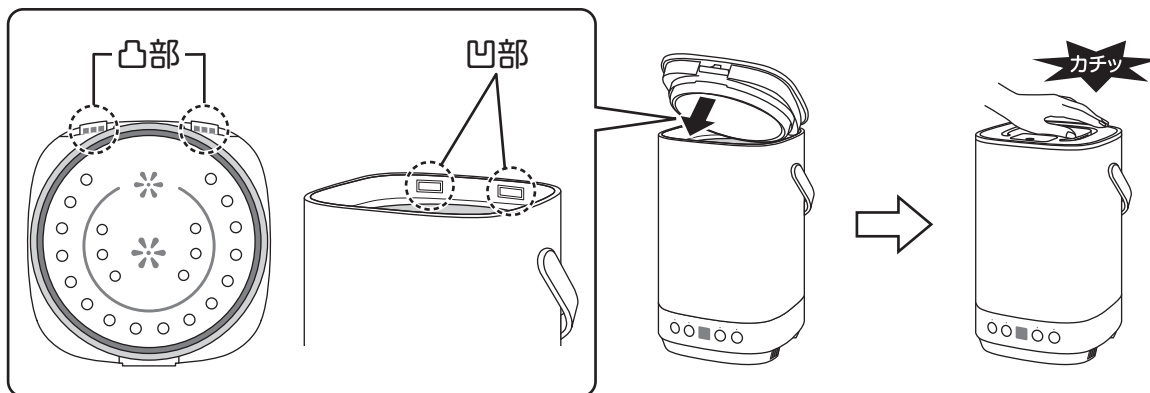
やけどのおそれがあります。

- 蒸気の吹出口に触ったり、手や顔を近づけたりしない。
- 給水は、本体が冷めてから行う。
- 使用中や使用直後は、ふたを開けない。
- ふたを開けたまま運転しない。



【ふたの取り付けかた】

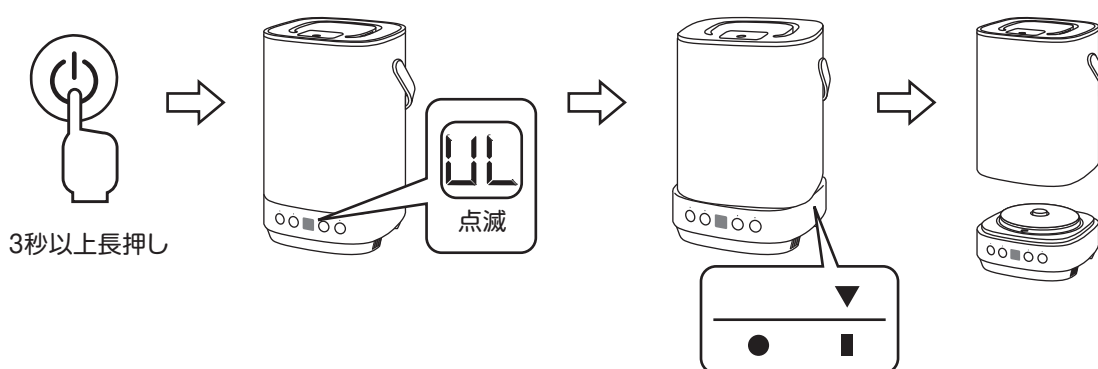
ふたの凸部(2箇所)を、本体の凹部(2箇所)に合わせて差し込み、カチッと音がするまで確実に水タンクに押し込んでください。



準備

【水タンクの取り外しかた】

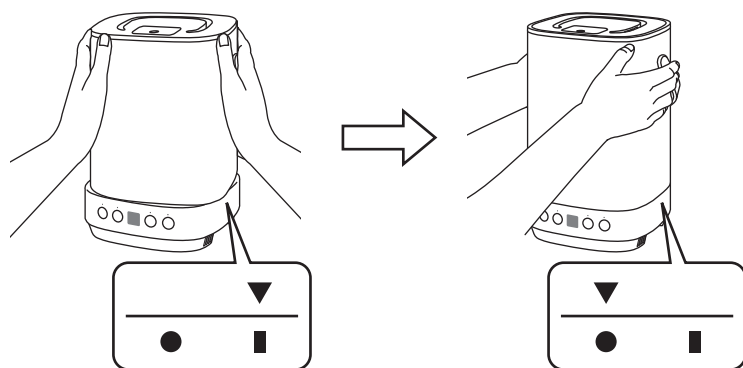
- ①電源プラグをコンセントに差し込み、電源が切れている状態で、電源ボタンを3秒以上長押ししてください。ブザーが2回鳴り、表示部に  が20秒間点滅して、ロックが解除されます。
- ②水タンクの▼を本体の■に合わせると、水タンクを取り外せます。
 が点滅している間に水タンクを取り外してください。
 の点滅が終了すると、水タンクは再びロックされ、取り外せなくなります。



- 本体が高温のときは電源ランプが赤色に点灯し、電源ボタンを長押ししてもロックを解除できません。ボタンを長押ししている間、ブザーが鳴り続けます。本体が冷めて、電源ランプが消灯してから、ロックを解除してください。
- 本体が冷めるまで、運転停止後約30分かかります。
- チャイルドロック時はロックを解除できません。

【水タンクの取り付けかた】

- ①水タンクの▼を本体の■に合わせて差し込んでください。
 - ②水タンクの▼を本体の●に合わせて、水タンクがロックされます。
水タンクが■方向に回らないことを確認してください。
- ※電源の入/切にかかわらず、取り付けできます。

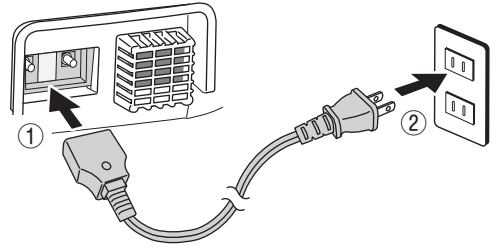


水タンクの取っ手を持って回さないでください。

使いかた

1 電源プラグをコンセントに差し込む

- ①本体にマグネットプラグを接続してください。
- ②電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。通電後、ブザーが1回鳴ります。



水タンクが取り付けられていない状態では電源は入りません。

2 加湿する

- ①電源ボタンを押してください。加湿量「弱」で運転を開始します。
水を加熱し始めて、沸騰近くになると加湿を開始します。
 - ②加湿量を5秒間表示した後、現在の湿度表示に変わります。
- ※室温や水温にもよりますが、蒸気が出るまで約30～40分かかります。



表示部は1番下の横線が点灯します。
※加湿量「弱」

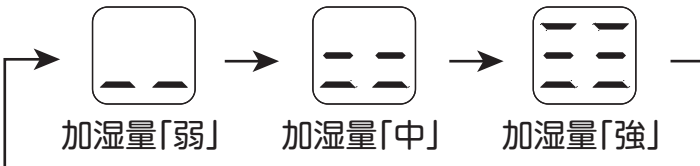


現在の湿度表示 (例)湿度50%

電源ランプ	運転中 : 緑色に点灯 運転停止中 : 高温時は赤色に点灯、低温時は消灯
タイマー/自動/加湿ランプ	運転中 : 白色に点灯 運転停止中 : 消灯

3 加湿量を切り換える

- ①加湿ボタンを押すたびに、加湿量が「弱」「中」「強」の3段階に切り換わります。
どの加湿量に設定しても、沸騰するまでは最大電力で加熱します。
 - ②加湿量を5秒間表示した後、現在の湿度表示に変わると設定完了です。
- ※設定後に加湿ボタンを押すと、設定した加湿量を5秒間表示します。



使いかた

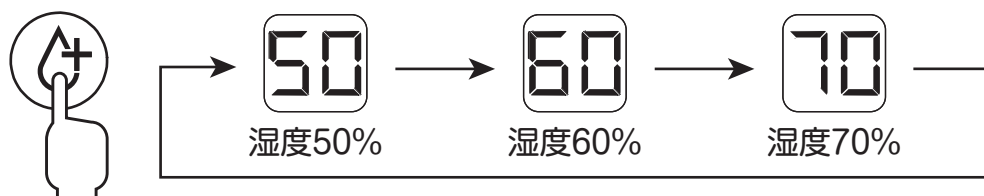
4 自動運転にする

●自動運転時は、設定した湿度を保つように加湿運転の強弱を自動的に切り換えます。

①自動ボタンを押してください。自動ランプが点灯し、湿度50%設定で運転を開始します。自動ボタンを押すたびに、「50%」「60%」「70%」の3段階に湿度設定ができます。

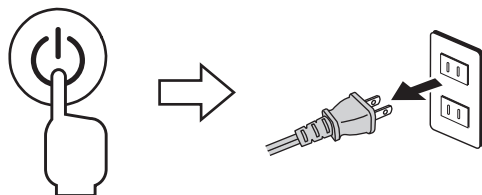
②湿度設定を5秒間表示した後、現在の湿度表示に変わると設定完了です。

※設定後に自動ボタンを押すと、設定した湿度を5秒間表示します。



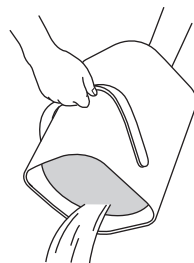
5 運転を終了する

電源ボタンを押して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。



【残り湯の捨てかた】

- ①本体が十分に冷めてから、水タンクを取り外してください。
(水タンクを取り外しかた・取り付けかた →8ページ)
- ②ふたを取り外してください。
(ふたの取り外しかた・取り付けかた →7ページ)
- ③水タンクを支えながら取っ手をしっかりと持ち、残り湯を捨ててください。



使いかた ー各機能ー

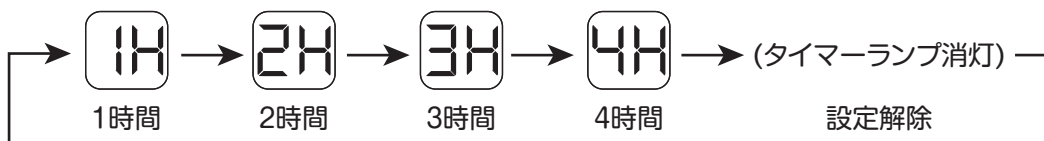
減光機能

運転時に何らかの操作を行ってから30秒経過すると、ランプと表示部が自動的に減光します。

切タイマー 設定時間が経過すると運転停止します。



- ①運転中にタイマーボタンを押してください。タイマーランプが点灯し、切タイマー設定ができます。切タイマーボタンに触れるたびに設定時間がかわります。(設定時間…1/2/3/4時間)
- ②設定時間を5秒間表示した後、現在の湿度表示に変わると設定完了です。
※切タイマーカウント中は、タイマーボタンを1回押すと残り時間を約5秒間表示します。続けて押すとタイマー時間の再設定ができます。
※設定時間が経過するとブザーが1回鳴り、ランプと表示部が消灯し、運転停止します。



チャイルドロック



- タイマーボタンを3秒以上長押ししてください。ブザーが1回鳴り、チャイルドロックランプが赤色に点灯し、チャイルドロックが設定されます。
- 設定解除したいときは、再びタイマーボタンを3秒以上長押ししてください。ブザーが1回鳴り、チャイルドロックランプが消灯します。

運転停止中にロック	<ul style="list-style-type: none">●運転開始できなくなります。 運転するときは、ロックを解除してください。●水タンクのロック解除ができなくなります。
運転中にロック	運転設定を変更できなくなり、電源を切る以外の操作ができなくなります。再び運転するときは、ロックを解除してから電源ボタンを押して、設定しなおしてください。

水がなくなったときは

水がなくなると、表示部に ||| と表示して運転を停止します。

本体が冷めてから電源ボタンを押すと、表示が消灯します。

※高温時は、電源ボタンを押しても表示は消灯しません。

お手入れ



警告

- お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷めてから行ってください。
- 水タンクのお手入れの際は、必ず本体から外して行ってください。



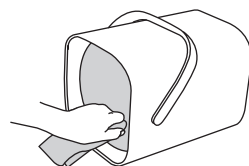
注意

- お手入れにはベンジン・シンナー・磨き粉・金たわしなどを使用しないでください。製品を傷める原因になります。

水タンク

- お手入れをしないと水あかが固着して、故障の原因になります。ご使用のたびに、水タンクの内側（特に底部分）を軽くふいていただくことをおすすめします。
- ふいても水あか（白い付着物）が取れないときは、中性洗剤を含ませたやわらかいスポンジなどで汚れを取り、水ですすいで、水分をふき取ってください。

※水タンクの取り外しかた・取り付けかた →8ページ



本体

※水洗いできません。

乾いたやわらかい布でふいてください。汚れがひどい場合は、ぬるま湯でうすめた中性洗剤を布に含ませ、固くしぼってふいてください。

ふた・吹出口 （1週間に1回程度）

- 吹出口や周辺を乾いたやわらかい布でふいてください。水あか（白い付着物）が少しでも付着したら早めにふき取ってください。放置すると固着してしまいます。
- 汚れがひどい場合は、中性洗剤を含ませたやわらかいスポンジなどで汚れを取り、水ですすいで、水分をふき取ってください。

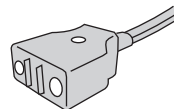
※ふたの取り外しかた・取り付けかた →7ページ



マグネットプラグ、マグネットプラグ接続口

※水洗いできません。

乾いたやわらかい布で汚れをふき取ってください。汚れたまま使用すると発熱などのおそれがあります。



故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、次の点をお調べください。

こんなとき

ご確認ください

運転しない

- 電源プラグがコンセントから外れていませんか。
→電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。
- マグネットプラグが外れていませんか。
→マグネットプラグをいったん外して、再度接続しなおしてみてください。
- 配電盤のブレーカーが働いていませんか。
→原因を確認して、ブレーカーを復帰させてください。
- 水タンクは正しく取り付けられていますか。
確実にロックされていないと電源が入りません。
- チャイルドロックがONになっていませんか。
→チャイルドロックがONになっていると電源が入りません。

加湿しない

- 水がなくなっていないですか。(表示部に ||| と表示)
→給水してください。
- 吹出口がふさがっていませんか。
→お手入れをしてください。(→12ページ)
- 運転開始しても水が沸騰するまでは蒸気が出ません。
(約30～40分かかります。)

においがする

- 水が古くなっていないですか。
→新しい水に入れ換えてください。
- 使い始めは樹脂などのにおいがすることがありますが、ご使用にともないにおいがなくなります。

水がなくなっても
運転停止しない

- 水タンクの底に水あかが溜まっていますか。
→水タンクのお手入れをしてください。(→12ページ)
- 水タンクとヒーターの間に異物が挟まっていますか。
→異物を取り除いてください。

故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、次の点をお調べください。

こんなとき

ご確認ください

湿度が上がらない

●お部屋の面積が適用床面積より広くはないですか。

水タンクが
外れない

- 電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。
- 電源ランプは消灯していますか。
- 水タンクをロック解除の位置まで回しましたか。
- 本体が熱いときには外れません。
本体が冷めるまで、運転停止後約30分かかります。
- チャイルドロックがONになっていませんか。
→チャイルドロックがONになっていると水タンク
ロックが解除できません。

※上記の点検または処置をしても異常がなおらなかったり、原因がわからないときは、電源プラグをコンセントから抜き水タンクの水を捨てて乾燥させてから、お買い上げの販売店へご連絡ください。

※電源コードや電源プラグに下記のロ.およびハ.の症状があるとき、またはイ.の場合で汚れなどが取り除けない場合には、感電や火災の原因になりますので、お買い上げの販売店にご連絡ください。

イ.電源プラグに汚れ・さび・ホコリなどの付着が見られる。

→汚れ・さび・ホコリなどを取り除く。

ロ.電源コードに傷がある。

ハ.運転中、電源コードを動かすと電源が切れることがある。

よくあるご質問

ご 質 問	回 答
電気代はどのくらい かかりますか？	「強」運転(最大加湿の場合)：1時間あたり約14円 ※電気料金目安単価31円/kWhを基に計算しています。 ※沸騰するまでは一時的に約24.8円/時間 相当の電気代
何時間連続で 使用できますか？	「強」運転時(最も水を消費する場合)：約6.5時間 「弱」運転時：約20時間
何畳の部屋まで 加湿できますか？	「強」運転の場合、 木造和室：10畳まで プレハブ洋室：17畳まで
一日中連続で 使用できますか？	連続で使用いただいてもかまいませんが、安全上給水時には いったん運転を停止し、本体が冷めてから給水してください。

収納のしかた



警告

電源コードをきつくたばねたり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。
コードが破損し、火災や故障の原因になります。

- お手入れ後は水分をふき取り、直射日光の当たらない場所で十分に乾燥させてください。
- 製品をポリ袋などに入れ、お買い上げ時の箱に収納します。直射日光を避け、湿気の少ない場所で保管してください。
- 緩衝材を紛失した場合や、箱に入れずに収納する場合は、製品を立てた状態でポリ袋などを被せてください。

仕様

電 源 電 圧	交流100V 50/60Hz		
定格消費電力	800W (沸騰するまで)		
本 体 寸 法	幅212×奥行205×高さ333mm (水タンク含む)		
質 量	約2.7kg (水タンク含む)		
電源コード長	約1.5m		
運 転 モード	強	中	弱
加 湿 量	600ml/h	400ml/h	200ml/h
消 費 電 力	450W	350W	195W
連続加湿時間	約6.5時間	約10時間	約20時間
適用床面積 (強運転時)	木 造 和 室:~約10畳 プレハブ洋室:~約17畳		
安 全 装 置	サーモスタット、温度ヒューズ		
水タンク容量	約4.0L		

※加湿量は、室温20℃・湿度30%のときの最大値で表しています。

※室内の温度や湿度によって加湿量はかわります。

アフターサービスについて

製品の保証について

- この説明書には製品の保証書がついています。
保証書は、お買い上げの販売店で「お買い上げ日」「販売店名」などの記入を受け、内容をよくお読みいただき大切に保管してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。
保証書の記載内容により修理をいたしますが、保証期間中でも有料となる場合があります。
- 保証期間後の修理
お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって使用できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」に沿ってご確認いただき、それでも異常のあるときは、ただちに使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をお申し付けください。ご自分での分解・修理は絶対にしないでください。感電やけがのおそれがあります。

補修用性能部品について

この製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後6年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■使いかたやお手入れなどのご相談は下記へ

この商品についてのお取り扱い・お手入れ方法などのご相談、ご転居されたりご贈答品などで、販売店に修理のご相談ができない場合は、右記までご相談ください。

お客様ご相談窓口

ナビダイヤル  **0570-019-700**
※PHS、IP電話など一部の電話からのご利用はできません。
受付時間 10:00～17:00 (土・日・祝日を除く)

- Eメールでのご相談も受け付けております。
その際は商品名・品番・ご相談内容・お名前・お電話番号をご記入の上、ご相談ください。

Eメールでのご相談は
info_a@yamazen.co.jp

個人情報のお取り扱いについて

株式会社 山善及びその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

※お問い合わせの際には保証書に記載の商品名・品番をご連絡ください。

M E M O

A series of horizontal dashed lines for writing.